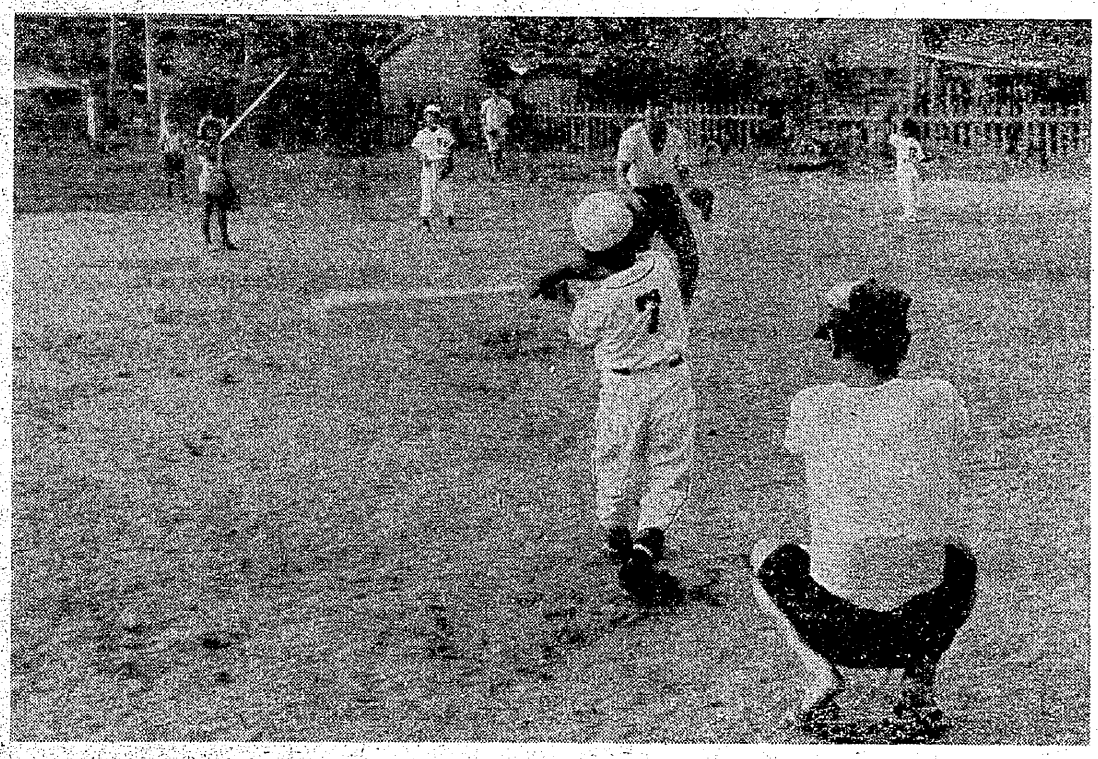


四山社宅広場（小学校跡）で、ソフトボールの練習にうち興じる子どもたち。女の子もいつしよになつて、ボールが飛ぶごとに「キヤー、キヤー」と声をはりあげながら、毎日元気に走りまわつている。

母親大会で平和の誓い

守り続けましょう 子供らのしあわせ

大牟田

第十八回大牟田市母親大会は、八月六日午後一時過ぎから、大牟田労働会館ホールに約三百人の母親が集まり開催されました。「生命を生み出す母親は、生命を育て生命を守ることをのぞみます」のスローガンをかかげて、毎年開かれてきたこの大会は、福岡県母親大会実行委員長の堺のえさんや、日本社会党大牟田総支部の川口六平委員長らの激励を受けるなど、今年も意義ある催しとなりました。

みんなは平常日にもかかわらず仕事を休んだり、家事をなげうったりして集って話し合い、反戦映画の〝ジョニーは戦場へ行った〟を心から鑑賞、最後にみんなの願いを大会宣言にもりこみ、決意を明らかにしました。

大会で、木村ケイ大会実行委員長のあいさつがありました。

「八月六日は広島に原爆が投下され、十数万の人びとが爆死し、そのほか多くの人びとが被爆し、今日も苦しみながら生きつづけている。このような日に、平和を願う母親が一堂に集まり、この大会を開催することは大きな意義があり、まわりの人びとへ反戦平和、子供の幸福、暮らしの安定を実現するために努力することを呼びかけ、がんばってゆきたい」

なお、大会は「学童保育所をつくる」ことと、「三歳児医療現物支給を実現する」二つの決議を採択し、この日決意したことを地域や職場に持ち帰り、平和、子供のしあわせ、くらしを守るために力を合わせてゆくことを固く誓い合いました。

大会宣言要約

私たちの願いは今、せっぱつまったところにきています。小・中学校の新しい学習指導要領から核と、公害が消え、君が代が国歌として復活、政、財、官各界と癒着してのたくらみは、再び軍国主義への道を思い起こさせます。

いっぽう公共料金値上げ、消費者米価の値上げがつづき、職場では不況を理由にした首切り合理化や労働強化が押しつけられ、労働災害・職業病が多発しています。われわれは絶対に許すことができません。平和や子供のしあわせ、暮らしを守るために、みんなで力を合わせることを誓います。

〝姿見〟さん

本所支部　中原千春

〝姿見〟さん、こんにちは。

かの三池大争議のあまりの熾烈さゆえに、かえってひたと寄り添っていった親と子、夫と妻仲間と仲間――の連帯の感触をあなたはいきいきとうつし出してくれました。怒り、悲しみ、よろこび、あるいは回想、展望と、その内容はさまざまであっても、そこには労働者を人間とも思わず踏みつけにする者へのきびしい追求のまなざしと、ただれの胸にも共感を呼び起こさずにはおかない、生活のにおいがにじんでいます。

思えば三池主婦会結成このかた、人それぞれにう余曲折はあったにしても、あなたと共に歩いてきた足跡をふり返って見ますと、まぎれもなく一つの目的をめざす一本の道であった事を確信できます。いささかおぼつかない足どりながら、それまでの経験を基礎に学習を積み重ねることによって、自分の人生方向を見定めることができました。

その道はまだまだ遠く、道程はなまやさしいものでない事はわかります。でも、きれいに拭き清められたあなたの面にうつし出される仲間の姿が、私をはげましてくれるのです。それは自分で自分の心を見つめる機会をも与えてくれるのです。

真実を、容赦なくうつし出しながら導いてくれるあなた。一歩一歩、私はこれからもあなたと共に歩いてまいりたく思います。何分よろしくお願いいたします、〝姿見〟さん。

×

この欄は、述べるまでもなく三池の主婦皆さんのものです。三池労組と新労組との別など、問うところではありません。人それぞれの思いを、どうぞこの欄へ寄せてください。**編集部**

三池のおばちゃん――ぼくは元気な一年生

勝之君から塚本さんへ便り

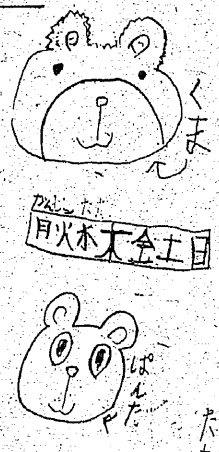
先に、千葉市幸町二丁目十三―十五―三〇四、にお住いの田中千代子さんから、荒尾市原万田社宅三棟の塚本栄子さんのもとへうれしい便りが寄せられてきました。なかにはお子さんの勝之君のも同封されていました。次に、原文のまま親と子の便りを紹介することにいたします。

お母さんから

御無沙汰いたしておりますが、おかわりございませんか。新聞〝みいけ〟を見るたびに手紙を出したいと思うのですが、なかなかかけません。筆不精をお許しください。

六月十六日発行の〝みいけ〟にかかあさん、何を夢中で見てるの。〝みいけ〟の新聞？　あっ、おばちゃんだ！三池のおばちゃんだ」

三池にまなぶ婦人集会のことが載っておりました。読みながら、二年前に行ったときのことが思い出されてきました。



みいけのおばちゃんおじちゃん、
おげんきですか。
ぼくは一ねんせいになりました。
がっこうはすぐちかくにあります。
おかあさんがおしごとからかえるまで
こどもルームであそんでいます。
ようびはひとりでごはんをたべて
まってします。
おばちゃんへ

たなかかつゆき

上は、勝之君の元気な便り。下は勝之君の写真。妹のりょう子ちゃんとお父さんも……。

「二人で三池のおばちゃんに手紙を書こう」、となった訳です。

勝之が、ぎこちない書き方で一生懸命書きました。以前の手紙よりは、まともに読んでいただけるようになったと思います。（親バカなのかな）

今週の月曜日（六月二十七日）から、勝之と私の二人が具合が悪くなり、休んで今日で四日目になります。勝之は風邪、私はつわりで来年一月出産の予定です。三人の子どもを育てながら働き続けられるかどうか、不安は大きいのですが、子ども達はもろ手を上げて喜んでいますので、それにはげまされてがんばろうと思っています。

何かとお忙しいこととは思いますが、お体に気をつけてがんばって下さい。またお便りします。

勝之くんから

みいけのおばちゃん、おじちゃんおげんきですか。

ぼくは一ねんせいになりました。がっこうはすぐちかくにあります。おかあさんがおしごとからかえるまで、こどもルームであそんでいます。

土ようびは、ひとりでごはんをたべてまっています。

おばちゃんへ。

×

田中さんは、お手紙のなかにもあるように、二年前〝三池にまなぶ婦人集会〟に参加されたとき、塚本栄子さん（ご主人は清さんといってCO患者）の家に、二泊されました。そのときつれてこられたのが勝之君だったのです。

以来働く者のきずなで結ばれた両家庭は、お住まいの土地こそ離れていても、いつも赤い血が通いあうもののように、いっしょに歩いているのです。

こうして、働く者同志が結ばれながら歩くことの何という力強さ。素晴らしさ。私たちはこのような連帯の輪をますます広げながら、前進してゆきましょう。

また上がる米

▼…今年も、平均九・八％の消費者米価引き上げが強行されました。四年続きの大幅値上げです。

標準価格は十キロ当たり二千七百四十円から三千円。四年間で約二倍上がったかんじようになります。どうやら、諸物価へのハネ返りは避けられそうもありません。さて、どうしたらよいでしょう。